

令和 4 (2022) 年度栃木県健康推進学校表彰について

このことについて、過日実施いたしました審査会の結果、下記のとおり被表彰校を決定いたしました。

この表彰は、心身ともに健やかな児童生徒を育成するために、学校における健康課題を中心として、健康教育の推進に積極的に取り組み、成果を上げている学校を表彰するものです。

なお、表彰式は 12 月 20 日（火）に開催する第 17 回栃木県健康教育研究大会の中で執り行います。

記

○ 最優秀校

小学校 小山市立東城南小学校

【成果概要】

新型コロナウイルス感染症の流行に伴いステイホームが続き、子どもたちのゲームやタブレット等の使用時間増加が話題となり、メディアをうまく活用する力が必要と考え「メディアコントロール活動」を実践している。小中連携の取組として、中学校の定期テスト期間に合わせて、メディアコントロール「チャレンジ Days」期間を設け、家庭で相談して実情に合わせた目標を設定し、結果を自己評価する取組を実施している。学校と家庭が連携した取組により、児童は自分の事として捉えられるようになり、学校全体の健康教育の成果を上げている。今後は、この活動について眼科の学校医の協力を得て目の健康についても拡充していくことを検討している。

中学校 壬生町立南犬飼中学校

【成果概要】

4つの教育目標プロジェクトチームを編成しており、全教職員が各チームに所属して取り組んでいる。健康教育は「健やかな体を育む指導」チームが担当し、保健主事が中心となって PDCA サイクルを実践している。普段から「自分の健康を考え将来に向けて実践できる生徒をめざして」取り組んでおり、令和 3 年度は特に、規則正しい生活を送ることで、感染症対策につながることをねらい「感染対策と生活習慣」に焦点をあてて取り組んだ。主な活動としては、生徒会保健委員会の啓発活動として、歯磨きの実施率、ハンカチ持参率、爪の衛生状況について調査し、結果を掲示し校内放送でも知らせるなど主体的な活動となっている。関係教職員が健康課題を共通認識し、生徒が主体的に活動することで、健康教育の成果を上げている。

○ 優秀校

小学校 塩谷町立玉生小学校

【成果概要】

健康的な生活習慣の定着を目指して、感染の予防について知識や技能を身に付けることに重点をおいて取り組んでいる。主な活動として、外部講師による手洗い指導やハンカチ携帯呼びかけ（忘れた児童にハンカチの貸し出し）を行っている。また、望ましい生活習慣が身につくための指導として、学級活動による保健教育、健康相談の実施（随時）、児童が自らの健康状態について説明できるように掲示物の作成等行い、毎年度末に児童対象の振り返りアンケートを実施しており、その結果をふまえて更に改善につなげることで健康教育の成果を上げている。

○ 優良校 該当無し